

第1回 旧雄物川流域水害対策協議会 議事概要

令和6年12月23日
秋田県河川砂防課

1 概要

○今回の協議会では、特定都市河川流域に指定した旧雄物川流域において、あらゆる関係者が一体となり総合的な水害対策の効果的かつ円滑な実施を図るための「旧雄物川流域水害対策計画」の策定に向けた議論を行い、「令和5年7月と同規模の大雨」を計画対象降雨とすることや今後のスケジュールなど、計画の基本方針を決定しました。

2 開催日/実施状況

■日 時：令和6年12月23日（月）14：30～15：30

■場 所：秋田地方総合庁舎 6F 605会議室

■出席者：委員出席4名、代理出席8名、欠席1名 ※欠席委員の議事については事務局へ一任する旨、事前に連絡あり

3 協議会での主な意見など

学識経験者 松富名誉教授(河川工学)はじめ
関係各機関が出席し、計画策定に向け議論を開始

第1回協議会
開催状況



【秋田市 建設部長（代理）建設部次長】

- ・雨水浸透阻害行為許可の事務で地元から厳しい意見もいただく。
- ・行政はハード対策をしっかりと加速させていく必要がある。

【秋田市 都市整備部長（代理）都市整備部次長】

- ・計画との整合や連携を図りながら立地適正化計画に位置付ける防災指針の検討を進める。

【秋田市 上下水道局 理事】

- ・水災害対策プロジェクト及び内水被害等軽減対策計画とあわせ、災害に強いインフラ整備を進めていく。

【秋田県 総務部 危機管理監（代理）総合防災課政策監】

- ・防災に対する県民の理解促進など、ソフト面の対策強化を図る。

【秋田県 農林水産部長（代理）農林水産部次長】

- ・関係機関と連携し、田んぼダムの取組や森林整備事業を推進する。

【秋田県 建設部長】

- ・実施中の河川改修と併せ、流域水害対策計画の策定を進めていく。

《議事関係》

- 計画の基本的な考え方、計画期間、計画対象降雨、今後のスケジュールについて、事務局提案の通り、了承いただいた。

- 今後、次回の作業部会に向け、浸水シミュレーション・検討を進める。

【学識経験者 松富秋田大学名誉教授】

- ・計画の全体的な考え方としてはこれで問題ない。
- ・策定にあたり「流域全体で多層的な対策になっているか」「対策実施に伴う他の部分への影響」「内水時のダム操作方法」について検証が必要。
- ・作業にあたり、検討に用いる雨のパターンや観測所の整理を行うこと。
- ・計画する事業については、どのように進めるか考えを決めておくこと。

【国土交通省 秋田河川国道事務所長（代理）副所長】

- ・下流圏域分科会時の解析データの提供等、計画策定に向け支援可能。

【農林水産省 西奥羽土地改良調査管理事務所長】

- ・田んぼダムは流出対策として有効であり、引き続き取組を推進する。

【林野庁 秋田森林管理署長（代理）森林技術指導官】

- ・防災、減災の観点から治山施設の設置や森林の整備等を進めていく。

【秋田市 総務部 危機管理監（代理）防災安全対策課長】

- ・地域防災計画やハザードマップなどのソフト対策の取組を進める。

【秋田市 産業振興部長（代理）産業振興部次長】

- ・集水域（農業・森林施設）での対策を関係機関と協力し取り組んでいく。